## <u>演習用PCが確保できない</u> PCを持っているが演習用環境が構築できない ネットワーク接続が確保できない

## ネットワーク接続できない学生

当面4号館の一階の教室が解放され、WiFi接続できます。

詳しくはこちら

https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/news/news/news-20200414-01/

教室利用の場合も十分感染防止に努めてください。

ただし、今後学内に感染者が出た場合は**構内完全閉鎖の可能性**があります。よって自分の家 などで**ネット接続できる環境整備**(ネット接続サービス加入など)を検討することを強く勧 めます。

## <u>演習用PCが確保できない、あるいはPCを持っているが演習用環境が構築で</u> きない学生

学術情報基盤センター2階第1・第2実習室が解放されます。このPC で Cygwin が利用で きますので、これを使って演習を行ってください。詳しくは上記サイトを見てください。こ の場合も感染予防に十分努めてください。

ただし、今後学内に感染者が出た場合は**構内完全閉鎖の可能性**があります。よって自分の PCを購入することを検討することを強く勧めます。今後の学習に必ず必要になります。

## 情報基盤センター演習室を使ってのプログラミング演習1の演習方法

ログオンには基盤情報センターの I D とパスワードが必要です(一年の情報処理で使った もの)。失念した場合は基盤情報センターに学生証を持って聞きに行ってください。

ログインしたのち、デスクトップにある「アプリアイコンを表示する」アイコンをダブルク リックする。これでスタートメニューに全アプリが表示されるはずだが、まだ一部しか表示 されない、あるいは途中で一部しか表示されなくなったら、またこれを繰り返す。

次に

スタートメニュー→Cygwin→Cygwin Terminal と選んで、Cygwin の端末を起動する。 Cygwin 端末内で以下を入力 cd z: mkdir programming cd programming 以上でファイルサーバーの自分の仮想ディスクにプログラムを入れておくフォルダ

(programming)を作り、これにディレクトリを変更する。**C:¥ドライブ**にファイルを作ってもログアウトすると**消去**されてファイルが残らないので注意。**Z:**¥ドライブのファイルは残る。

フォルダの作成は一度行えばよく、以降は Cygwin Terminal を起動したら

cd z:

cd programming

としてディレクトリを移動すればよい。

次にこのフォルダにプログラムを入力してみる。

まずエディタを起動する。

スタートメニュー→Windows アクセサリ→ワードパッド

と選択し、**ワードパッドを起動**する(他のエディタでも可)。

プログラムを入力し終わったら、これに名前を付けて保存する

ワードパッドのメニューの

ファイル→名前を付けて保存→その他の形式

と選ぶ。



Z:¥ドライブの programming フォルダを選んで

ファイル名:の箱に例えば

program1.c

ファイルの種類:の箱からテクストドキュメント(\*.txt)

を選んで、「保存」のボタンを押す。これで program1.c の名前のファイルができているは ずである。



cygwin 端末でこのファイルをコンパイルしてみよ。必ずこの programming のディレクト リに cd コマンドを使ってディレクトリを移動しておくこと。

cd z:

cd programming1

gcc -Wall -o program1.exe program1.c

このファイルがあるのを確認する。

デスクトップ上の「PC」のアイコンをダブルクリックして、エクスプローラーを起動する。 すると、C:¥ドライブと Z:¥ドライブが表示されているはずである(Z:¥ドライブには自分 のログイン ID の名前がついている)。

Z:¥ドライブ のアイコンをダブルクリックすると、先ほど作った programming のディレク トリが表示されるはずである。これをダブルクリックして開けると、中にプログラムファイ ル program1.c これをコンパイルした実行ファイル program1.exe ができているはずである。 レポートを提出する場合はこのようにして作ったプログラムファイルを WebClass で選ん で提出する。

作業が終わったら、忘れずに

スタートメニューを右クリック→シャットダウンまたはサインアウト→サインアウト と選択して、ログオフすることを忘れずに。